

企画展第1回

「安野光雅」展

——旅と遊びのふしぎな絵本——

会期 4月17日(土)～5月30日(日)
会場 県立美術館

美術館だより

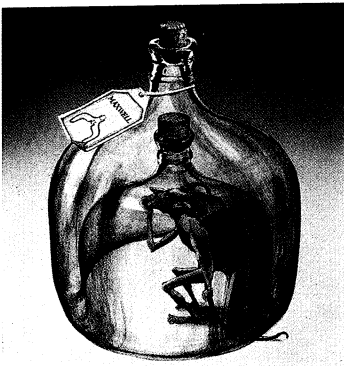
絵本作家、安野光雅は1968年に「ふしぎなえ」でデビューして以来、「さかさま」、「ABCの本」、「天動説の絵本」など錯覚や位相幾何学(トポロジー)を駆使した絵本で知られています。そこに繰り広げられる知的なしかけと遊び心あふれる世界は、絵本の領域を子供のみならず、大人も楽しめるものへと広げました。

このような初期のいわゆる“不思議な絵”のシリーズにつづいて、日本国内各地やヨーロッパ諸国、アメリカなど世界各地を旅した

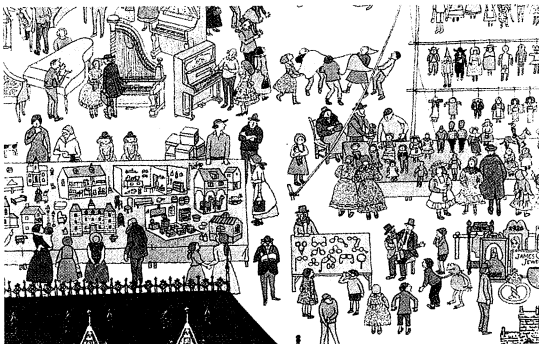
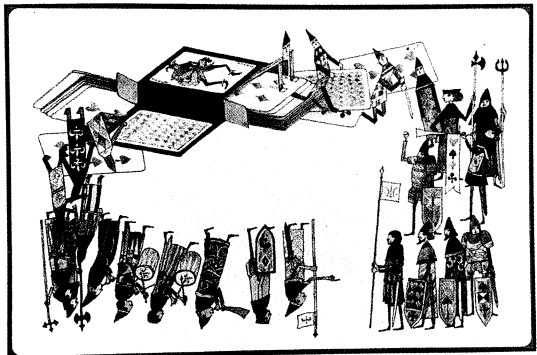
際のさまざまな思いや思い出にもとづいた絵本が作られます。尾瀬や乗鞍の自然に思いを込めた「野の花と小人たち」、絵本による紀行といった「歌の絵本」、「旅の絵本」など抒情性豊かな風景画のシリーズです。

本展は、これら安野光雅の絵本の原画から代表的な作品約270点を展示するほか、彼の考案したおもちゃやからくり絵などもあわせて展示します。大人から子供までじっくりとお楽しみください。

▶「安野光雅の画集」1977年より「わたしはしずくのとりこ」



▶「さかさま」1968年より



▶「空の市」1968年より



▶「安野光雅の画集」1977年より「ちきゅうのかけ」

観覧料	一般・大学生	610円(510円)
	高校生	460円(360円)
	小・中学生	300円(200円)
	※()内は20名以上の団体料金	
休館日	4月19日(月)、26日(月)、30日(金)、5月6日(木)、10日(月)、17日(月)、24日(月)	